

# 来週の「売り物」記事はこれ



2016年7月1日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 介護は「生きるアート」、折元立身の世界

3日(日)



ストーリー

介護は生きるアートだ。川崎市在住の現代美術家、折元立身さん(69)＝写真＝は20年間にわたり、アルツハイマーと鬱病を患う母(97)を在宅介護しながら、その姿を写真や映像に収めて発表してきました。深刻な老老介護の現実を温かいユーモアでくるんだ作品は、高齢化が進む先進国を中心に海外でも高く評価されています。顔一面にフランスパンをくり付けて路上や広場に登場する「パン人間」、ブタを相手に意思疎通を試みた近作「子ブタを背負おう」など、身体を使ったパフォーマンスを中心に30カ国で多彩な活動を展開してきた折元さん。「芸術は崇高なものではなく生活の中にある。だから介護だってアートになるんだ。俺のモナリザはお袋だよ」。ユニークな芸術を生み出す母子の絆に迫りました。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

## 魚介食材に国際エコ基準でなく独自基準適用か

### 東京五輪選手村 「お手盛り」おもてなし?

夕刊特集ワイド 4日(月)



オリンピックの選手村で、世界から集合したアスリートたちに供される食事には、その国の「おもてなし」の心意気がにじみます。このうち魚介類の食材については、「エコ」の観点から、持続可能な漁業で収穫されたかの国際基準を満たしたものに限るのが、近年の流れ。ところが日本は、2020年の東京五輪で独自の基準が用いられそうだ、というのです。イメージダウンも懸念されるこの問題、何が起きているのか。追いかけてみました。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

## 国勢調査からみえるもの

医療福祉面 6日(水)

5年に1度実施される国勢調査の2015年の速報結果が発表されました。65歳以上の高齢者の割合が初めて人口の4分の1を超えるなど、少子高齢化が一段と進み、15歳以上の労働力人口は前回調査より300万人近く減りました。社会保障制度や雇用・労働など、人口構成の変化が与える社会への影響を考えます。



## 参院選企画「長寿リスク社会」

くらしナビA面 6日(水)から



安倍政権は「介護離職ゼロ」を「新・三本の矢」のひとつに掲げています。実際に介護を理由に仕事を辞めた人は、どんな状況だったのでしょうか。「介護の社会化」を目指したはずの介護保険制度も大きく変わろうとしています。ボランティアは介護の受け皿になるのでしょうか。介護の現場で悪戦苦闘する家族の姿を紹介し、何が必要なのかを考えます。

## 憲法の「家族条項」って何？ くらしナビA面 9日（土）

改憲勢力が3分の2以上の議席を占めるかどうか最大の焦点となっている参院選。戦争放棄を定めた憲法9条より前に「お試し改憲」の対象になると予想されるのが「緊急事態条項」と「家族条項」です。自民党の改憲草案には「家族は助け合わねばならない」との国民の義務が盛り込まれています。改憲された場合に、この条項が暮らしに与える影響を探ります。



## 加藤登紀子×行定勲対談 おんなのしんぶん 4日（月）



熊本市出身の映画監督、行定勲さん（48）＝写真＝は昨年、地元を舞台にした作品「うつくしいひと」を撮影しました。4月に熊本地震が起き、映画は震災前の美しい熊本を記録した貴重なフィルムに。各地でチャリティー上映会が開かれています。「映画人として熊本のためにできることを続けていきたい」という行定監督に加藤登紀子さんが復興や故郷への思いを聞きました。

## シリーズ参院選

### どう描く「分断社会」の処方箋

オピニオン面 【論点】 8日（金）

「一億総活躍社会」のかけ声の陰で、「格差」がじわりと広がっています。厚生労働省の集計では、子どもの貧困率は16・3%で、6人に1人が貧困層です。アベノミクスへの評価や改憲論議ばかりが注目されがちな参院選ですが、「格差社会」の克服も隠れた争点です。「格差」は人々の「分断」を生みます。私たちはどういう社会に向かおうとしているのでしょうか。

